

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	プロダクトデザイン実習2B
科目基礎情報				
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期 後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数 60時間
単位数	2単位	授業形態	実習	
教科書/教材	教科書：なし 材料：適宜配布または各自用意			
担当教員情報				
担当教員	下總良則	実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的				
デザインの基本である、機能、形体、色彩から、立体デザインの基礎的な設計方法を学び、立体表現のための技術や構成力を習得する。また、造形する際に各種素材を利用して、機能と美しさを意識した製品としてデザイン提案に発展させ、社会の中でのデザインの役割を学ぶ。				
到達目標				
課題のポイントを理解し、条件等制約条件を明確にする事が出来る。 明確なコンセプトを立て、複合的素材および手法によるプロダクトデザインモデル表現ができる。 プロセスを理解して作業を進めることができる。				
教育方法等				
授業概要	ドアハンドル・バターナイフ等の単機能でシンプルな課題を通じ、機能と美のバランスを体感的に学習する。美しいフォルムの導き出し方および評価の仕方を習得する。木、発泡素材等の加工方法、仕上げ方法等を学ぶ。			
注意点	道具の使い方、素材の扱い方に注意し怪我をしないようにする。 制作内容により作業着、作業用具、各種材料が必要になる。 やむを得ず欠席した場合、すぐに担当教員が補助員に相談し授業の流れに遅れないよう注意すること。 授業時間数の3/4以上出席しない者、未提出課題がある者は不合格とする。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	課題完成度	60%	提出課題の完成度を評価する	
	リサーチ	10%	制作準備と過程を評価する	
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する	
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ガイダンス	雑貨デザインの概念・ルールについて理解し、今後のプログラムに当てはめて活用できるようになる		
2回	手に馴染む有機形態1	有機形態のスケッチを表現できる。スケッチしたイメージを熱線カッターで大まかな部材取り出来る		
3回	手に馴染む有機形態2	有機形態をカッター等使って形状表現できる サンドペーパーを使用し仕上げる事が出来る		
4回	手に馴染む有機形態3	プレゼンテーション・講評会		
5回	ドアハンドル1	ガイダンス 構内にあるドアハンドルを調査し、太さ等握り易さの基準を把握し基準となる条件を設定できる		
6回	ドアハンドル1	設定した条件に基づきアイデアスケッチを50案以上展開できる 決定したデザインを基に三面図を作図できる		
7回	ドアハンドル1	作図した三面図を基にガイドゲージを作成できる 熱線カッターを使用しガイド通りに発泡材を形状切り出しできる		
8回	ドアハンドル1	切り出した発泡材を手に馴染む形状にサンドペーパーで仕上げる事が出来る ジェツッで仕上げる事が出来る		
9回	ドアハンドル1	仕上げたモデルをディスプレイにセットしプレゼンテーション準備のプロセスを理解できる		
10回	ドアハンドル1	プレゼンテーション・講評会		
11回	バターナイフ	ガイダンス 使用する木材の特性等理解できる イメージスケッチ50案展開できる		
12回	バターナイフ	決定したデザインを基に木材をバンドソー等で正確に切り出す事が出来る 切り出した部材をカッターで荒取りできる		
13回	バターナイフ	荒取りした部材を更にサンドペーパーで滑らかに仕上げる事が出来る		
14回	バターナイフ	仕上げたバターナイフをオイルフィニッシュできる 完成品の手描きレンダリングを仕上げる事が出来る		
15回	バターナイフ	プレゼンテーション・講評会		